**令和４年度研究計画書 地球規模課題解決に向けたグローバルエンジニア型博士人材育成プロジェクト**

**【SPRING】The Project ‘Fostering PhD Researchers in Engineering to Solve Global Issues’**

* 申請者情報

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 氏名Name |  | 国籍Nationality |  |
| 性別Sex |  | 生年月日Date of Birth | 年　 　　 　月　 　　　 日　　　　　　　　 Year 　Month 　 Day |
| 所属Affiliation | 　　　　　　　　　 | 学府研究科 　　　　　 | Graduate School of ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ |
| 入学年月 | 該当する入学年月にチェック Please check the appropriate year of enrollment.[ ]  April 2022 (春入学) [ ]  October 2021 (秋入学)  |
| 英語力 | 英語能力試験のスコア等Proof of your English proficiency (TOEIC, TOEFL, IELTS, etc.) |
| 特別研究員申請実績 | 令和４年度採用分 日本学術振興会特別研究員(DC1)　Did you apply for JSPS Research Fellow (DC1) FY2022?[ ]  申請した　Applied　 [ ]  申請していない　Not applied |

■ 指導教員　Academic Supervisor

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名Name |  |

■ 国際共同研究指導を依頼する海外大学教員　Co-Supervisor of overseas university/research institute

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 氏　　名　　　Name | 職名 Position | 所属大学（国名）University (Country) |
|  |  |  |

■　国際共同研究指導（海外留学含む）に対する抱負や計画、準備状況

|  |
| --- |
| The project aims at fostering highly capable researchers with wide international perspectives, who will assume important roles in future global research activities. In view of this aim, please explain your motivation, plans, and preparations for this project (including study abroad) in detail your motivation for applying to this project. |

■　これまでに取り組んだ国際的/学際的研究活動やキャリア形成に関わる活動の実績・そこから得たもの

|  |
| --- |
| Please describe any abilities and so on gained through past experiences in international/Interdisciplinary activities. |

■ 研究の実施を含む諸活動を通じて博士後期課程修了後に目指すもの・そのために心がけること

|  |
| --- |
| What are Your Academic Goals and Career Prospects after completing your PhD study? Please describe elements that you think are necessary for further development as a researcher in the future.  |

**私は、九州工業大学「地球規模課題解決に向けたグローバルエンジニア型博士人材育成プロジェクト」に採用される資格があること、募集要項に記載された義務を履行することを誓います。**

**I certify that I meet all the application requirements. I understand and agree to observe all the obligations stipulated in the Application Guidelines.**

|  |
| --- |
| 氏名Name |

令和　　4年　　　月　　　 日

■　研究業績

1. **学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文、著書**（査読の有無を明記すること。査読のある場合、採録決定済のものに限る。著者、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載すること。）
2. **学術雑誌等又は商業誌における解説、総説**
3. **国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）** 著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）
4. **国内学会・シンポジウム等における発表**(3)と同様に記載すること。
5. **特許等**（申請中、公開中、取得を明記すること。ただし、申請中で詳細を記述できない場合は概要のみ記載。)
6. **その他**（受賞歴等）

|  |
| --- |
| 1. **Thesis published in academic journals and books** (Including a bulletin and collection of papers. Mention it is peer reviewed or not. For peer-reviewed cases, provide information that has been decided to be included in a journal.) Authors, titles, names of journals, publishing offices, volumes, pp. starting page-ending page, and years of publications shall be stated in this order.
2. **Comment or review articles on academic journals or commercial magazines**
3. **Presentation at international conferences** (State whether it was an oral presentation or poster, and whether it was peer reviewed or not.) Authors, titles, the names of academic conferences, numbers of papers, locations, month and year shall be stated. (Those scheduled to be presented should be excluded. However, those have been accepted for presentation may be entered.)
4. **Presentation at a domestic academic conference, symposium, etc.** Indicate in the same manner as (3).
5. **Patent, etc.** (Indicate whether a patent is pending, laid open or granted. If it is not possible to describe the details of a patent due to its pending status, the outline would suffice.)
6. **Others** (Prize-winning record, etc.）
 |

**２．【研究計画】**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(1) 研究の位置づけ**

特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**【研究計画】（続き）**※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

**(2) 研究目的・内容等**

　① 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。

　② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入してください。

　③ 研究の特色・独創的な点（先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等）にも触れて記入してください。

　④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。

　⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関（外国の研究機関等を含む。）において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

**３．人権の保護及び法令等の遵守への対応** ※本項目は１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本欄には、「２.研究計画」を遂行するにあたって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取り扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など法令等に基づく手続が必要な研究が含まれている場合に、どのような対策と措置を講じるのか記入してください。例えば、個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査、国内外の文化遺産の調査等、提供を受けた試料の使用、侵襲性を伴う研究、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の情報委員会や倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となりますので手続の状況も具体的に記入してください。

　なお、該当しない場合には、その旨記入してください。

**４．【研究遂行力の自己分析】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で２頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

　本申請書記載の研究計画を含め、当該分野における(1)「研究に関する自身の強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ、具体的に記入してください。

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・下記（１）及び（２）の記入にあたっては、例えば、研究における主体性、発想力、問題解決力、知識の幅・深さ、技量、コミュニケーション力、プレゼンテーション力などの観点から、具体的に記入してください。また、観点を項目立てするなど、適宜工夫して記入してください。*

*なお、研究中断のために生じた研究への影響について、特筆すべき点がある場合には記入してください。*

**(1)** **研究に関する自身の強み**

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*・記述の根拠となるこれまでの研究活動の成果物（論文等）も適宜示しながら強みを記入してください。*

*成果物（論文等）を記入する場合は、それらを同定するに十分な情報を記入してください。*

*（例）学術論文（査読の有無を明らかにしてください。査読のある場合、採録決定済のものに限ります。）*

*著者、題名、掲載誌名、巻号、pp開始頁－最終頁、発行年を記載してください。*

*（例) 研究発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を明らかにしてください。）*

*著者、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載してください。（発表予定のものは除く。ただし、発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

**(2)** **今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素**

**５．【目指す研究者像等】**※各事項の字数制限はありませんが、全体で１頁に収めてください。様式の変更・追加は不可

　日本学術振興会特別研究員制度は、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者の養成・確保に資することを目的としています。この目的に鑑み、(1)「目指す研究者像」、(2)「目指す研究者像に向けて特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ」を記入してください。

**(1)目指す研究者像** ※目指す研究者像に向けて身に付けるべき資質も含め記入してください。

**(2)上記の「目指す研究者像」に向けて、特別研究員の採用期間中に行う研究活動の位置づけ**